

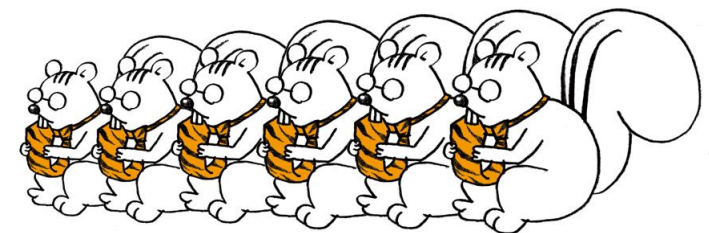
## 昭和99年(西暦2024年) プロ野球セ・リーグペナントレース順位予想

昭和99年(西暦2024年)3月28日

昭和歌謡アカペラグループリストラーズ

### <目次>

はじめに	...	<a href="#">1頁</a>
リストラーズ各メンバー予想順位	...	<a href="#">2頁</a>
リストラーズ各メンバー予想コメント	...	<a href="#">3頁</a>
リストラーズ総合予想順位	...	<a href="#">4頁</a>
【補足資料】草野メンバー広島東洋カープの展望	...	<a href="#">6頁</a>
【補足資料】野村メンバー横浜DeNAベイスターズの展望	...	<a href="#">7頁</a>
【補足資料】澤田メンバー中日ドラゴンズの展望	...	<a href="#">8頁</a>
【補足資料】大西メンバーセ・リーグ戦力分析	...	<a href="#">9頁</a>
【補足資料】プロ野球セ・リーグ順位予想的中率定義	...	<a href="#">10頁</a>



リストラーズ公式マスコット「トラリスくん」

## はじめに

いよいよ昭和99年(西暦2024年)のセ・リーグペナントレースの開幕が明日に迫り、我々リストラースも身が引き締まる思いです。

リストラースでは、活動指標(KPI)としてプロ野球セ・リーグの順位予想的中率※を定め、目標として100%の的中率を掲げております。

また、メンバーごとの個人予想についても、最も的中率が高かったメンバーは、リストラースで演奏する楽曲として好きな曲を1曲選曲できる権利を得るという特典を設けており、プロ野球セ・リーグペナントレース順位予想はリストラースにとって最重要のイベントとなっております。

今回、各メンバーそれぞれ意地とプライドを掛け、持ち得る叡智を結集し、今季の順位を予想いたしましたので以下の通りご報告いたします。

※ 詳細は[補足資料](#)をご参照ください。

あくまでも一野球ファン個人の主観が多分に入った分析・予想のため、異論や異議、認識違い、情報収集不足等の様々なご指摘があるかと思いますが何卒ご容赦ください。また、3/23時点で予想をしており、その点もご承知おきください。

昭和99年3月28日

昭和歌謡アカペラグループ

リストラース

草野 野村 加藤 澤田 大西 上村

# リストラース各メンバー予想順位

※予想は3/23時点で実施、個人的主観による

	草野	野村	加藤	澤田	大西	上村	トラリスくん
1位	阪神 タイガース	読売 ジャイアンツ	阪神 タイガース	中日 ドラゴンズ	読売 ジャイアンツ	東京ヤクルト スワローズ	みんながんばれ！
2位	読売 ジャイアンツ	阪神 タイガース	読売 ジャイアンツ	阪神 タイガース	阪神 タイガース	読売 ジャイアンツ	
3位	広島東洋 カープ	広島東洋 カープ	中日 ドラゴンズ	読売 ジャイアンツ	広島東洋 カープ	中日 ドラゴンズ	
4位	中日 ドラゴンズ	横浜DeNA ベイスターズ	広島東洋 カープ	横浜DeNA ベイスターズ	中日 ドラゴンズ	阪神 タイガース	
5位	横浜DeNA ベイスターズ	東京ヤクルト スワローズ	横浜DeNA ベイスターズ	東京ヤクルト スワローズ	横浜DeNA ベイスターズ	広島東洋 カープ	
6位	東京ヤクルト スワローズ	中日 ドラゴンズ	東京ヤクルト スワローズ	広島東洋 カープ	東京ヤクルト スワローズ	横浜DeNA ベイスターズ	

応援 球団	広島東洋 カープ	横浜DeNA ベイスターズ	中日 ドラゴンズ	中日 ドラゴンズ	読売 ジャイアンツ	東京ヤクルト スワローズ	阪神 タイガース
----------	-------------	------------------	-------------	-------------	--------------	-----------------	-------------

# リストラーズ各メンバー予想コメント

※予想は3/23時点で実施、個人的主観による

## 草野

- 1位 **阪神** : 連覇は固い
- 2位 **巨人** : 効果的な戦力補強を敢行
- 3位 **広島** : ※補足資料参照
- 4位 **中日** : 補強したがAクラスは厳しいか
- 5位 **横浜** : 今永、バウワアの穴に苦労
- 6位 **ヤクルト** : 怪我人が続出、投手も厳しいか

## 澤田

- 1位 **中日** : ※補足資料参照
- 2位 **阪神** : 優勝候補筆頭も他チームの厳しいマークで苦戦と予想
- 3位 **巨人** : 効果的な補強によりAクラス入り
- 4位 **横浜** : 新戦力含め打線充実度随一も今永バウワアの穴は大きい
- 5位 **ヤクルト** : 打線は非常に強力だが怪我人多く特に投手に苦労しそう
- 6位 **広島** : 打線に苦労しそう、外国人次第か？

## 野村

- ・そろそろ**巨人**が怖い：4位→1位
- ・それ以外のチームは昨年から繰り下げ
- ・**ベイスターズ**は戦力ダウンが大きい、ファンとしてこれ以上低く予想したくない(※補足資料参照)

## 大西

- ・冷静な戦力分析の結果(※補足資料参照)、戦力的には**タイガース**が抜けている。
- ・そこに続くのが先発投手が充実の**カープ**。他の4球団はそこまで大きな差は見られない。
- ・ファンの願望を反映し**ジャイアンツ**を1位に持ってきて、以下戦力分析結果順。

## 加藤

- 1位 **阪神** : 去年強かったから
- 2位 **巨人** : お金ありそうだから
- 3位 **中日** : ファンとしての期待から
- 4位 **広島** : 残りはプロスピデータ順
- 5位 **横浜** : 残りはプロスピデータ順
- 6位 **ヤクルト** : 残りはプロスピデータ順

## 上村

- ・**ヤクルト**に勝ってほしいと思います。

# リストラース総合予想順位

※予想は3/23時点で実施、個人的主観による

	リストラース総合予想順位	平均予想順位※		各メンバー予想					
		相加平均	相乗平均	草野	野村	加藤	澤田	大西	上村
1位	読売ジャイアンツ	1.83位	1.70位	2位	1位	2位	3位	1位	2位
2位	阪神タイガース	2.00位	1.78位	1位	2位	1位	2位	2位	4位
3位	中日ドラゴンズ	3.50位	3.09位	4位	6位	3位	1位	4位	3位
4位	広島東洋カープ	4.00位	3.85位	3位	3位	4位	6位	3位	5位
5位	東京ヤクルトスワローズ	4.83位	4.19位	6位	5位	6位	5位	6位	1位
6位	横浜DeNAベイスターズ	4.83位	4.78位	5位	4位	5位	4位	5位	6位

※ 相加平均昇順で順位付けし、相加平均が同値の場合は相乗平均昇順で順位付け(相乗平均も同値の場合は前年順位が高い方を高順位に)  
⇒ 今回、東京ヤクルトスワローズと横浜DeNAベイスターズが相加平均は同値であるが相乗平均値が小さい東京ヤクルトスワローズを上位に

# 補足資料

## 【補足資料】草野メンバー**広島東洋カープ**の展望

※予想は3/23時点で実施、個人的主観による

リストラース

予想順位：3位

西川の抜けた穴に焦点が当てられているが、昨年かなり登板過多であった中継ぎ・抑えのパフォーマンスが落ちるリスクの方をむしろ懸念している。昨年よりも苦戦が予想されるが、楽しみな若手も出てきており、新井監督の手腕で育成と成績を両立できるとポジティブ予想。以下、ポジション別の所感を述べる。

【外野】西川が抜けたが、キャンプ期間中は若手の競争の場となり、ファンとしては楽しみが多かった。侍ジャパンに選ばれた田村は既にそのポテンシャルは話題になり始めているが、オープン戦開始前まで好調であった中村(健)、久保、中村(貴)はその後はアピール不足であり、怪我で出遅れた末包も含め秋山、野間を脅かすまでの選手がなかなか出て来なかったのは少し残念。中村(奨)がウ・リーグ開幕後絶好調なので、早期の1軍昇格に期待。

【内野】小園が例年とは違いこの時期から既に仕上げてきており、1段階上のレベルに上がる予感。また矢野も今年は打撃に磨きがかかっているように見られ、菊池休養時のオプションとして期待される。ただシャイナー、レイノルズの両外国人が日本の野球に適応しきれていないように見受けられ、仮に成績が振るわない場合は、育成も兼ねて3塁を二俣、林等に任せても良いと感じる。あとは堂林、上本が昨シーズンのような活躍ができるのかも鍵となる(外野での出場も多いとは思いますが)。

【捕手】捕手の体制は昨年と引き続き変わらず坂倉、會澤体制。一方第3捕手は最近持丸も多く起用されており、誰になるは予想できず。個人的には成長著しい期待の高木は、1軍の第3捕手ではなく、2軍の第1捕手として、今のうちから試合を多く経験させて、じっくり育成してもらいたい。

【先発】九里、床田、森下に加え大瀬良も開幕には間に合う見込み。新外国人ハッチは5番手、6番手先発としてはまずまず。6番手は開幕戦の相手を踏まえアドウワにはなったが、黒原、玉村もまずまずのアピールをしていたので新井監督のやりくりに期待。当初5番手と期待していた森の不調が痛く、そしてここに遠藤の名前が全く挙がらないのが個人的に非常に残念…。一方、常廣は即戦力ではあるが、まだまだ伸びるポテンシャルのある素材型タイプとも言われており、個人的には焦らず調整をして、交流戦あたりに上がってくれればと思う。

【中継ぎ・抑え】

栗林、矢崎、島内、大道が昨年はかなりの投球数となっており非常に心配。更にターリーの代わりと考えていたハーンが全く目処が立っていない。サイドスローに転向後安定している塹江、復活を期す森浦あたりが出て来ないと台所事情はかなり苦しい。支配下枠の空きがあまり無いので難しいが、育成1位の杉田が投げっぷりが良く良いアピールをしているので、密かに期待している。

## 【補足資料】野村メンバー横浜DeNAベイスターズの展望

※予想は3/23時点で実施、個人的主観による

予想順位：4位

今期の横浜DeNAベイスターズを以下の通り分析する。

スローガン：横浜進化

ポジティブ要素：+30点

- ①若手の台頭。野手陣ではルーキーの度会、石上。2年目の松尾、林。3年目の梶原ら、一軍での活躍が期待できる若手が増えている。また、投手陣でも3年目の小園、徳山らが一軍戦力として期待できる。+10点
- ②オープン戦での好調さ。勝敗こそ突出したものは無いが、得失点で大きくプラス。本塁打、盗塁、打率、防御率などでもリーグ最上位の成績を収めている。特に盗塁は昨年度リーグ最下位の33個だったのが、今年はオープン戦だけで23個(3/23現在)を記録するなど、走塁面での大きな改善が図られている。+10点
- ③リリーフ陣の充実。実績のある山崎、伊勢、三嶋、森原らが怪我無く開幕を迎える。序盤からのリリーフ酷使を控えることで中盤以降での戦力ダウンを防ぐことができる。+5点
- ④新戦力。前述のルーキー陣に加え、新外国人投手のウィック、ケイ。オリックスから加入の中川。投打にバランスよく新戦力を補強できている。+5点

ネガティブ要素：▲40点

- ①先発投手陣の不足。今永、バウアーの抜けた278投球回分の補完は容易ではない。東、平良ら現勢力の頑張りに加え、新外国人や新加入選手による穴埋めに期待せざるを得ない。▲20点
- ②中堅・ベテラン陣の勤続疲労。打者では宮崎、佐野らの中核選手がここ数年間ほぼ皆勤。また実績ある投手は30代を迎える選手が多く、徐々に全盛期を越え始める時期と言わざるを得ない。▲10点
- ③新キャプテンへの負担。今期からキャプテンを引き継ぐ牧は、打者として、内野手として、3年間期待を大きく上回る成績を残したため、キャプテン就任は当然に思える。一方で負担が増し成績を落とす可能性は否めない。▲10点

これらの分析よりベイスターズは昨年度より若干苦しい状況にあると想定し、順位を一つ下げ4位でフィニッシュすると予想する。当然だが、ファンとしてはこの予想を裏切ってほしいものである。ベイスターズが上位に食い込むことができ、そのせいで予想が外れたということになったならば、それは本望である。がんばれ横浜DeNAベイスターズ。



## 【補足資料】 澤田メンバー **中日ドラゴンズ** の展望

※予想は3/23時点で実施、個人的主観による

リストラース

予想順位：1位

近年は主に打撃面の不調が響き低迷が続いているが、中田の補強により待望の長打力を強化。細川、石川昂弥、鶴飼といった長距離打者の成長も著しく、今年3年目となる立浪監督の就任時の言葉「打つ方は必ずなんとかします」がまさに結実し、「強竜打線」復活のシーズンになるものと予想。

一三塁は、中田&石川昂弥が主軸と見られるが、ビシエド、中島、高橋周平、福永、カリストらも控えており、激しい競争による大幅な戦力増が見込まれる。個人的には、オープン戦で復調気配を見せている高橋周平がここからキャリアハイの成績を残し長く活躍してくれる(所謂和田曲線に載る)ことを期待したい。

二遊間が固定できていないことは最大の課題だが、ロドリゲス、田中、村松、龍空、石垣らに加え、新人の辻本津田と、ポテンシャルの高いメンバーは揃っており、かつての「アライバ」のような素晴らしい二遊間の形成が期待される。

外野は、残念ながら岡林が開幕に間に合うか微妙な状況ではあるが、三好がオープン戦で好調を維持しておりその穴は埋まりそう。細川、ディカーソン、大島、鶴飼、ブライト、上林などなど、様々なタイプの選手がひしめいている。個人的には、昨年ブレイクした細川に続いての長距離砲・鶴飼の覚醒にも期待したい。

投手陣はベテランから若手まで充実しており、文句なしの最強布陣。中継ぎは、藤嶋の離脱が非常に痛いところではあるが、最強クローザーのライマルを筆頭に、松山、清水、勝野、齋藤、岩寄、祖父江、福、田島と、勝利の方程式を二通り作れるほどに充実している。個人的には、岩瀬から背番号13を引継いだ男、橋本が非常に強力なボールを投げつつ課題の制球も改善の兆しがあり、今シーズンの覚醒を期待している。先発陣は、昨季は好投しても勝ちがつかない不運に見舞われることがしばしばあったが、打撃の向上により今シーズンは順当に勝ちがついていくと予想。高橋宏斗の不調による出遅れは誤算だったが、大きな遅れにはならないと考える。

ローテーション入れ替えも考慮して勝ち星を厳し目に見積もると、柳(13)、小笠原(11)、高橋宏斗(12)、メヒア+梅津(12)、涌井+大野(12)、松葉+根尾+仲地+福谷+上田+松木平(12)、これに加え中継ぎの勝ち星が15勝程度(※去年は22勝)と考えると、優勝ラインである80勝超えは固いと考える。



# 【補足資料】大西メンバーセ・リーグ戦力分析

※予想は3/23時点で実施、個人的主観による

- ✓ 先発、救援、各ポジション計20項目について、各項目平均4.0点となるよう球団間で比較・点数化
- ✓ 合計値で順位付けし、合計値が同じ場合は、投手力の点数で判定(投手力の点数が同じ場合は、救援の点数で判定)
- ✓ ただし、最終的な順位予想の際は、点数に寄らず**ジャイアンツ**を一位とする(ファンとして優勝を願うのは責務)

球団	合計	先発 一番手	先発 二番手	先発 三番手	先発 四番手	先発 五番手	先発 六番手~	救援 一番手	救援 二番手	救援 三番手	救援 四番手	救援 五番手~	捕手	一塁手	二塁手	三塁手	遊撃手	左翼手	中堅手	右翼手	他控え
タイガース	88.0	4.5 村上 頌樹	5.0 大竹 耕太郎	5.0 伊藤 将司	4.5 才木 浩人	5.5 西 勇輝	5.0 青柳 晃洋 西 純矢 ピースリー 高橋 遥人	4.5 岩崎 優	4.0 ゲラ	4.0 島本 浩也	4.0 桐敷 拓馬	4.0 加治屋 蓮 石井 大智 及川 雅貴 岩貞 祐太	4.0 坂本 誠志郎 梅野 隆太郎 長坂 拳弥	5.0 大山 悠輔	4.5 中野 拓夢	4.0 佐藤 輝明	4.0 木浪 聖也	4.0 ノイジー 前川 右京	4.5 近本 光司	4.0 森下 翔太	4.0 ミセス 糸原 健斗 小幡 竜平 植田 海
カープ	81.5	4.0 九里 亜蓮	5.0 床田 寛樹	5.0 森下 暢仁	4.5 大瀬良 大地	3.5 ハッチ	4.0 森 翔平 玉村 昇悟 黒原 拓未 アドゥワ 誠	3.5 栗林 良吏	4.0 矢崎 拓也	4.5 島内 颯太郎	3.5 森浦 大輔	4.0 壺江 敦哉 大道 温貴 河野 佳 中崎 翔太	4.5 坂倉 将吾 會澤 翼 磯村 嘉孝	3.5 シャイナー	3.5 菊池 涼介	3.5 レイブルズ	5.0 小園 海斗	4.0 堂林 翔太 松山 竜平 末包 昇大	4.0 秋山 翔吾	4.0 田村 俊介 野間 峻祥 中村 健人	4.0 上本 崇司 田中 広輔 矢野 雅哉 林 晃汰
ジャイアンツ	78.5	4.0 戸郷 翔征	4.0 山崎 伊織	3.5 グリフィン	4.0 メンデス	4.0 菅野 智之	4.0 高橋 礼 赤星 優志 横川 凱 井上 温大	3.5 大勢	4.0 中川 皓太	3.5 ケラー	4.0 西舘 勇陽	4.0 バルドナード 馬場 皇輔 高梨 雄平 松井 颯	4.5 大城 卓三 小林 誠司 岸田 行倫	5.0 岡本 和真	4.0 吉川 尚輝	4.0 坂本 真人	4.0 門脇 誠 泉口 友汰	4.0 丸 佳浩 松原 聖弥 秋広 優人	3.5 佐々木 俊輔 萩尾 匡也 浅野 翔吾	3.0 オドア	4.0 梶谷 隆幸 オコエ 瑠偉 長野 久義 郡 拓也
ベイスターズ	78.0	4.5 東 克樹	3.5 大貫 晋一	3.5 石田 健大	3.5 濱口 運大	3.5 平良 拳太郎	4.0 森 唯斗 ジャクソン 中川 颯 小園 健太	3.5 山崎 康晃	4.0 ウェンデルケン	4.5 森原 康平	4.0 伊勢 大夢	4.0 上茶谷 大河 入江 大生 三嶋 一輝 ウィック	3.5 山本 祐大 戸柱 恭孝 伊藤 光 松尾 汐恩	3.5 オースティン	5.0 牧 秀悟	4.0 宮崎 敏郎	3.5 石上 泰輝 林 琢真 京田 陽太	4.0 佐野 恵太	4.0 桑原 将志	4.0 度会 隆輝 関根 大気	4.0 梶原 昂希 大和 柴田 竜拓 大田 泰示
ドラゴンズ	77.5	4.0 柳 裕也	3.5 小笠原 慎之介	3.5 涌井 秀章	4.0 高橋 宏斗	4.0 大野 雄大	3.5 梅津 晃大 北ア 松葉 貴大 根尾 昂	5.0 マルティネス	4.0 松山 晋也	4.0 勝野 昌慶	4.5 藤嶋 健人	4.0 橋本 侑樹 梅野 雄吾 田島 慎二 祖父江 大輔	3.5 木下 拓哉 宇佐見 真吾 石橋 康太	3.5 中田 翔 ピシエド	3.0 村松 開人 福永 裕基 田中 幹也	3.5 石川 昂弥 高橋 周平	3.5 ロドリゲス カリスト 龍空 辻本 倫太郎	4.0 ディッカーソン 大島 洋平	4.0 岡林 勇希	4.5 細川 成也	4.0 三好 大倫 鶴飼 航丞 中島 宏之 山本 泰寛
スワローズ	76.5	3.0 小川 泰弘	3.0 サイスニード	3.5 小澤 伶史	3.5 高橋 奎二	3.5 吉村 貢司郎	3.5 石川 雅規 ヤフーレ 高梨 裕稔 ロドリゲス	4.0 田口 麗斗	4.0 清水 昇	3.5 石山 泰稚	4.0 木澤 尚文	4.0 大西 広樹 エスパーダ 阪口 皓亮 宮川 哲	4.0 中村 悠平 内山 壮真 松本 直樹	3.5 オスナ	4.0 山田 哲人	5.0 村上 宗隆	4.0 長岡 秀樹	4.0 西川 遥輝 濱田 太貴 青木 宣親	4.0 塩見 泰隆	4.5 サンタナ	4.0 川端 慎吾 武岡 龍世 北村 拓己 赤羽 由紘

## 【補足資料】プロ野球セ・リーグ順位予想的中率定義

- ✓ メンバー毎の予想順位を平均しランク付した数字を全体予想順位とする。
- ✓ 球団毎の全体予想順位と実順位の差の絶対値を合計する。(この値をPとする。)
- ✓  $(18 - P) \div 18$ をプロ野球セ・リーグ順位的中率とする。

(例)

球団	A氏 予想順位	B氏 予想順位	C氏 予想順位	D氏 予想順位	E氏 予想順位	F氏 予想順位	→	平均 予想順位	→	ランク= 全体予想順位	⇔	実順位	→	順位差
イ	1位	6位	6位	1位	2位	4位	→	3.3位	→	3位	⇔	1位	→	2
ロ	3位	2位	1位	3位	1位	2位	→	2.0位	→	1位	⇔	2位	→	1
ハ	6位	4位	4位	5位	6位	5位	→	5.0位	→	6位	⇔	3位	→	3
ニ	5位	5位	3位	2位	3位	3位	→	3.5位	→	4位	⇔	4位	→	0
ホ	4位	3位	2位	6位	4位	6位	→	4.2位	→	5位	⇔	5位	→	0
へ	2位	1位	5位	4位	5位	1位	→	3.0位	→	2位	⇔	6位	→	4
													順位差計(P)	10
													↓	
													プロ野球セ・リーグ順位的中率 $[(18 - P) \div 18]$	44%

※的中率「 $(18 - P) \div 18$ 」とした理由

- Pの最小値は 0…全順位完全的中
- Pの最大値は18…最も予想と結果が乖離(予想順位が1,2,3,4,5,6で実順位が6,5,4,3,2,1の場合など)となる(同率順位がない前提)
- 最小値： 0 → 的中率100%
- 最大値：18 → 的中率 0%

となるような的中率「 $(18 - P) \div 18$ 」として設定

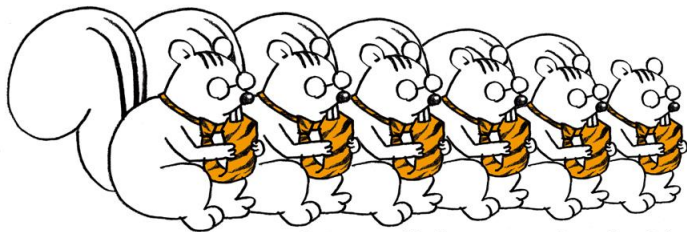
→順位差合計値Pを的中率として0%~100%で表すことで、より直感的に優劣が分かる形とする

-皆様が笑顔になれる時間/空間の提供を目指して-

昭和歌謡アカペラグループ

リストラーズ

以 上



リストラーズ公式マスコット「トラリスくん」